

第5節 スポーツ・レクリエーション

【第1項】

スポーツ環境の充実

現況と課題

■スポーツ施設の整備

余暇の増大、生活水準の向上、高齢社会への移行等に伴い市民の間に健康づくりや体力づくりのためにスポーツ・レクリエーションを楽しみたいという欲求が増大してきています。このため、市民がいつでも気軽に利用することができるスポーツ施設が必要となっています。

既存のスポーツ施設としては市民体育館、市営野球場、市営庭球場、運動広場があります。また、学校施設開放として市内の小中学校の体育館、格技館やグラウンド、一部県立高等学校の体育施設等も開放しています。

これらの施設は計画的に整備を進めていますが、老朽化が進んでいるため、より利便性を向上させるために大規模改修を必要としています。

■スポーツ施設のネットワーク化

市営施設として、体育館、野球場、庭球場等があります。また、市内企業の福利厚生施設として体育館・グラウンド等があり、一部が市民にも開放されています。さらに長生郡市温水センターが完成し、長生広域公園内の体育施設の建設も進められています。

●長生広域公園全体の完成予想図



今後、利用者の利便性を高めていくため各施設のネットワーク化を推進する組織について検討していく必要があります。

●体育施設

平成12年4月1日現在

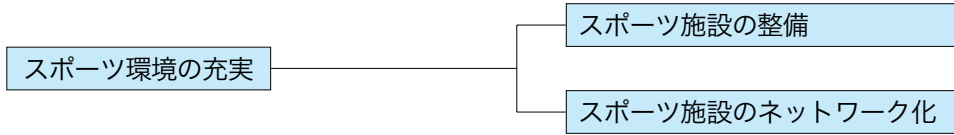
	施設名	面積等(m ²)
市 民 体 育 館	大体育室 バレーボール3面、バスケットボール2面 テニス2面、バドミントン8面他	1,829
	小体育室	662
	卓球場	369
	剣道場	370
	柔道場	401
	弓道場	77
	トレーニング室	176
	幼児体育室	84
	会議室 第1会議室70人 第2会議室30人	157
	計	4,125
	野球場	1面
	庭球場	11面
	多目的運動場(鶴枝・本納・豊岡)	3か所

基本方針

市民スポーツ・レクリエーションの振興を図るためスポーツ施設の整備拡充に努め、利用者の利便性

を高めるため各スポーツ施設間のネットワーク化を推進します。

◆施策体系



事業計画

■スポーツ施設の整備

1. 市民ニーズに対応するため、既存施設の整備拡充に努め、健康づくりスポーツ広場及び老朽化している小体育室、市民プールさらに現駐車場やアプローチ広場*を含めた体育館敷地全体を考えたスポーツ施設整備に努めます。
2. 地域スポーツの振興を図るため、学校体育施設の開放を積極的に進めます。また、学校体育施設の整備を促進するとともに利用団体を組織化し、利用・管理の円滑化を図ります。

3. トレーニング室の機器の整備・充実を図り、トレーニング指導士等を活用し、利用促進に努めます。

■スポーツ施設のネットワーク化

郡内にある公共スポーツ施設や民間企業のスポーツ施設、有料民間スポーツ施設さらに現在建設が進められている長生広域公園内のスポーツ施設など、利用者がいつでも気軽に利用できるようネットワーク化を推進していくための組織を検討します。

主要事業

- ・市民体育館の大規模改修
- ・トレーニング機器整備
- ・施設間の連携と有効利用



[第2項]

スポーツ・レクリエーションの振興

現況と課題

本市では、体育指導委員会や体育協会などの各種スポーツ団体や指導者が連携を図りながら、各種スポーツ教室や大会などを開催し、スポーツ・レクリエーションの振興に努めています。

しかし、近年核家族化や都市化が進み、地域社会の連帯感が希薄化する中で、生涯スポーツの観点に立ち、市民だれもが参加できるスポーツ・レクリエーションの普及に努めることが必要です。また、スポーツにより楽しさや爽快感と市民相互の連帯感の醸成といった精神的充足感を満たすことに努めていく必要があります。

■市民スポーツの充実

平成11年度市主催のスポーツ教室は、子どもから高齢者にいたる各年齢層の初心者を対象に基本的な技術の習得を目的として、12種目19教室開催し、6,811人の参加があり、年々内容も充実してきています。また、歩こう会や親子スポーツまつり、スポーツ・レクリエーション祭等各種大会への人気も高まってきています。

一方、競技スポーツの振興については、茂原市民体育祭の開催、千葉県民体育大会への選手の派遣等を通し、競技力の向上に努めていますがより一層の競技力向上のため、底辺の拡大・選手層の拡大が重要な課題となっています。さらに、市民ニーズを十分に取り入れ、だれもが気軽に参加できるような魅力的なスポーツ教室・大会・講習会にしていく必要があります。

■スポーツ団体の育成

スポーツ団体は愛好者が自主的、自発的に集まり継続的に活動を行うものであり、その活動は地域スポーツ振興の中核となるものです。また、スポーツを通して仲間意識を育て、地域住民の連帯感と帰属感を高める社会効果も望めます。

このため週休2日制の定着、余暇時間の増大、高齢社会の進展などの社会環境の変化とあいまってス

ポーツ団体の育成は地域スポーツ振興の課題といえます。

今後は競技スポーツ向上のために体育協会の強化を図り、少年スポーツ向上のために小学校を単位とするスポーツ少年団の育成に努めるとともに、市民スポーツの一層の振興を図るため市民がいつでも、だれでも加入できるスポーツ団体の育成が必要となっています。

■指導者の育成

スポーツへの関心の高まりの中で、一層の振興とその質的向上を図るために、指導者の育成が重要となってきました。平成12年度市民のうち千葉県スポーツリーダーバンクへの登録者数は39名、茂原市スポーツリーダーバンク*への登録者数は82名で、指導者の育成のため実技や指導の講習会を実施しています。リーダーバンクへの登録者数は増加傾向にありますが、指導者の育成で終わることなく、指導者としての資格を取得した者、能力を有する者により指導者育成の意義があります。今後は指導者の有効活用が重要となっています。

■体育指導委員活動の推進

体育指導委員は、市民のスポーツ振興という観点から現在、30名体制により各種スポーツ大会の企画・運営に参加するとともに、体育指導委員活動としてウォーキング教室やグラウンドゴルフ*などの軽スポーツの普及・振興にも積極的に取り組んでいます。今まで普及に努めてきたユニホッケー*及びグラウンドゴルフについては協会設立という所期の目標を達成したので今後は、ソフトバレーボール等の軽スポーツの普及に努めるとともに、いろいろな軽スポーツの紹介を通し、茂原の風土や地域性にあった独自のニュースポーツの普及を図る必要があります。

■スポーツ情報の提供

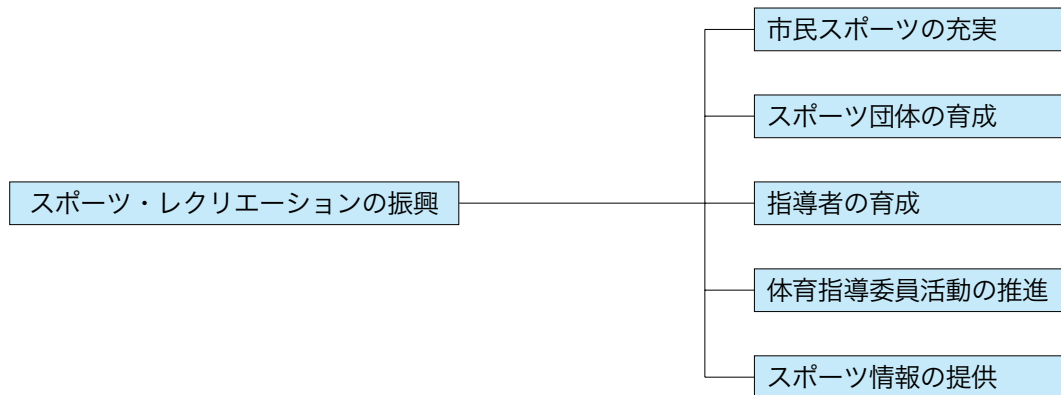
市民にスポーツ情報を提供する手段としては、市の広報紙、教育委員会の生涯学習情報紙「ハロータウン」、「スポーツもばら」等の機関紙の発行とポス

ターやパンフレット等を公共施設に掲示して周知しています。今日の情報通信システムの飛躍的な進歩から今後、インターネット等を利用した情報提供システムの構築を図っていく必要があります。

基本方針

スポーツ・レクリエーションを通して市民の健康づくり、体力づくりを推進するとともに市民の連帯意識の高揚を図り、健康で明るい活力に満ちた生活の実現を目指します。

◆施策体系



事業計画

■市民スポーツの充実

1. 市民要望を充分に取り入れた、より魅力的なスポーツ教室・大会・講習会の開催に努めます。
2. 競技力を向上させるための大会の開催、大会への選手の派遣を通し選手層の拡大を図ります。

■スポーツ団体の育成

市民スポーツの一層の振興を図るため、体育協会の強化と各種スポーツ団体の育成に努めスポーツを通して健康で明るい市民づくりを推進します。

■指導者の育成

スポーツ指導者の育成に努めるとともに指導者に

活動の場を与えることにより、その有効活用を図り、スポーツの振興に努めます。

■体育指導委員活動の推進

体育指導委員活動を活発化し、だれでも参加できるスポーツ・レクリエーションの普及・振興を図り、生涯スポーツ活動の実践に努めます。

■スポーツ情報の提供

1. 広報紙、機関紙、ポスター、インターネット等を活用しスポーツ教室・大会の案内等スポーツ情報の提供とその充実に努めます。
2. 平成15年度、体育協会が創立50周年を迎えるにあたり、記念史を編さんします。

主要事業

- ・市民体育祭の開催
- ・スポーツ団体の育成
- ・指導者の育成と活用
- ・体育協会50周年記念史編さん
- ・高校総体の開催
- ・国民体育大会の開催

